

JAPANSecuritySummit 2026

官民一体で挑む、新時代のサイバーセキュリティ戦略
～AIの実践的活用と、高度化する脅威を迎え撃つための最適解～

開催日：2026年10月28日(水)～11月2日(月)

全リストプラン	: 10月21日(水)
ダイヤモンドプラン	: 販売終了
プラチナ・ゴールド・シルバープラン	: 販売終了
エグゼクティブDay特別プラン	: 販売終了

締切済み

官民一体で挑む、新時代のサイバーセキュリティ戦略 ～AIの実践的活用と、高度化する脅威を迎え撃つための最適解～

近年、デジタルトランスフォーメーションの加速に伴い、AIをはじめとする先進技術の活用が急速に広がっています。その一方で、サイバー攻撃の高度化・巧妙化や、**情報セキュリティに対する社会的要請はこれまで以上に高まり、**組織の規模や業種を問わず、より実効性のある対策と継続的な取り組みが求められています。

このような時代背景のもと、政策動向から具体的なセキュリティ対策まで、**包括的にサイバーセキュリティを議論する場として「JAPANSecuritySummit 2026」を開催いたします。**

**第8回目を迎えるJAPANSecuritySummit 2026では、
各省庁のサイバーセキュリティへの取り組みとセキュリティ有識者による最新情報を
リアル会場からお届けする「エグゼクティブDay」と、
スポンサー企業様および共催団体による専門性の高い知見をオンラインで発信する「LIVE配信セッション」
の2構成でお届けします。**

**多様な立場のリーダーや実務者が一堂に会し、AI活用などによる新たな社会変革とそれに伴うリスクマネジメント、
さらには今後のセキュリティの在り方について、多角的かつ実践的なセッションを展開いたします。**

**先進のセキュリティソリューションを展開されている皆様には、本企画の趣旨にご賛同いただき、
ぜひスポンサーとして本シンポジウムにご参画賜りますよう、心よりお願い申し上げます。**

JAPANSecuritySummit 2026 開催概要



名称	JAPANSecuritySummit 2026
開催日	2026年10月28日(水)～11月2日(月)
申込締切	● 全リストプラン : 10月21日(水) ● ダイヤモンドプラン ● プラチナ/ゴールド/シルバープラン ● エグゼクティブDay特別プラン 販売終了 締切済み 販売終了
ご協賛プラン	300万円
形式	● 10月28日(水)：リアル開催@丸ビルホール ● 10月29日(木)～11月2日(月)：オンライン開催
申込者数	想定1,000名（うちエグゼクティブDay：170名想定） ※ 過去開催の実績値に基づく想定値のため前後する場合がございます
想定来場者 ・ 想定視聴者属性	● 一般企業(製造業、重要インフラ、サービス業、流通、通信、医療など)に所属する役員、経営企画部門、技術部門責任者 ● IT関連企業に所属する役員、経営企画部門、技術部門責任者 ● 公的機関・研究機関・学術機関に所属する役員、部門責任者

主催	JAPANSecuritySummit 2026 実行委員会
共催	<u>JAPANSecuritySummit 2025 実績</u> ● S/MIME推進協議会 ● 一般社団法人 サイバーセキュリティ連盟 ● 一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS) ● 一般社団法人 情報通信技術委員会(TTC) ● 一般社団法人 セキュアIoTプラットフォーム協議会(SIOTP協議会) ● 一般社団法人 ソフトウェア協会 (SAJ) ● 特定非営利活動 デジタル・フォレンジック研究会(IDF) ● 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス(CSAジャパン) ● 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) ● 一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC) ● 一般社団法人 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM) ● 一般社団法人 日本デジタルトランスフォーメーション推進協会(JDX) ● 一般社団法人 日本テレワーク協会(JTA) ● 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA) ● 一般社団法人 日本UAS産業振興協議会(JUIDA) ● バイエルン州 駐日代表部 ● フィッシング対策協議会 ● The Linux Foundation
	JAPANSecuritySummit 2026 実行委員会 一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会 アイティメディア株式会社
企画・告知 集客・運営	
参加費	無料

※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

1,000名のセキュリティ関心層へのリーチと、 ユーザ企業役職者とのネットワーキングを実現するハイブリッドイベント

イベント告知ページ



来場予定/興味関心を 申込時に取得

10/28 エグゼクティブDay
会場参加 or オンライン視聴の有無を選択

10/29～LIVE配信セッション
7つのテーマから興味関心テーマを選択

セキュリティ関心者を集客

- JAPANSecuritySummit 過去申込者
- テクノロジー専門媒体アイティメディアの読者

10/28
(水)

エグゼクティブDay @丸ビルホール



JAPANSecuritySummit 2026 ならではのコンテンツ構成

- 会場参加者をユーザ企業の役職者に限定
- 官公庁の審議官クラスの登壇者による特別講演を複数用意
- 2回にわたるネットワーキングで自社ブースを通じた役職者との繋がりを醸成

[過去の登壇者情報はこちら](#) >

LIVE配信あり
会場での参加のほか
オンラインでも視聴可能です

10/29(木)
11/2(月)

LIVE配信セッション



事前収録したセッションをLIVE配信

共催団体による多彩な基調講演、スポンサーセッション
を多数用意

会期全体で約1,000名の申込者にアプローチ

11/3(火)
1週間程度

アーカイブ配信

すべてのセッション を アーカイブ配信

エグゼクティブDay
LIVE配信セッション
すべてが
オンラインで視聴可能

テーマ1 サイバーリスクマネジメントと事業継続

経営視点でのセキュリティ戦略や投資判断、組織体制の整備に加え、サプライチェーン全体を見据えたリスク管理と事業継続の実現方法について解説

#セキュリティの方針・戦略の立案や投資優先順位 #経営層との合意形成 #人材育成
#グループ会社・子会社・海外拠点・委託先・取引先を含むサプライチェーン全体のリスク管理

テーマ2 ゼロトラスト移行とクラウドセキュリティ

ゼロトラストを前提としたシステムやネットワーク設計・構築、アクセス制御・認証基盤の在り方、クラウド環境の保護対策についての実践ポイントを解説

#クラウドとオンプレの使い分け #ネットワークセキュリティ #認証基盤 #クラウド保護

テーマ3 ランサムウェア対策とインシデント対応

ランサムウェアに対する予防策の整備から検知・初動対応、復旧プロセス、事業影響を最小化するための実効性ある対策とBCP強化のポイントを解説

#EDR/XDRやバックアップ戦略 #復旧設計/支援 #長期停止リスクへの対応 #脆弱性管理 #CSIRT体制
#インシデント対応手順 #ハンドリングシナリオ #演習・訓練 #関係部署連携

テーマ4 トラストサービス

電子署名やタイムスタンプ、認証基盤の基礎から、デジタル社会における信頼性確保の仕組みと活用方法について解説

#タイムスタンプ #Webサイト認証 #マイナンバー #公的個人認証 #eシール #電子署名

テーマ5 セキュリティ運用高度化・自動化

SOC運用の効率化や自動化の実現、運用負荷の軽減と高度な脅威対応の両立に向けた手法やツール活用について解説

#SOC/SIEM/XDR運用 #SOAR #ASM #ログ分析 #アナリスト育成 #AIによる運用自動化 #脆弱性管理

テーマ6 AIの安全な活用とデータセキュリティ (Security for AI)

生成AIの利用に伴うリスクやデータ保護の重要性、ガバナンスの整備、適切な運用ルールの策定、支援ツールの導入について解説

#認証基盤 #AIガバナンス #社内ルール整備 #機密情報の流出防止 #外部AI利用の管理 #DLP
#ネットワークセキュリティ #AI-SPM #ブラウザセキュリティ #AI向けファイアウォール

テーマ7 IoT/OTセキュリティ

工場や重要インフラにおけるリスクや経済安全保障、法規制・規格対応、サプライチェーン対策およびその要件となる脆弱性管理などを解説

#セキュリティ関連法案(CRAなど) #セキュリティ規格(IEC62443、NIST SP800シリーズなど)
#ラベリング制度(JC-STARなど)対応 #脆弱性管理(脆弱性診断、ペネトレーションテスト、SBOM、脆弱性管理ツール、ASMツールなど)

タイムテーブル

エグゼクティブDay

LIVE配信あり
会場でのご参加のほか
オンラインでも視聴可能です

10月28日（水）

会場：丸ビルホール

時間	枠時間	
13:00～13:05	5分	開会挨拶
13:10～13:30	20分	省庁講演 1-1
13:40～13:55	15分	スポンサー講演 1-1
14:05～14:20	15分	スポンサー講演 1-2
14:30～14:50	20分	省庁講演 1-2
14:50～15:20	30分	ネットワーキング 1
15:30～15:50	20分	基調講演 1-3
16:00～16:20	20分	省庁講演 1-4
16:30～16:45	15分	スポンサー講演 1-3
16:55～17:15	20分	省庁講演 1-5
17:25～17:45	20分	省庁講演 1-6
17:45～19:00	75分	ネットワーキング 2

※ エグゼクティブDayのスポンサー講演登壇順はお申込み順で
早い時間帯から順に決定

販売終了

LIVE配信セッション

7つのテーマに沿って主催者講演を用意
スポンサー講演も7つの中のお好きなテーマに合わせて配信いたします

時間	枠時間	10月29日（木）	10月30日（金）	11月2日（月）
13:00～13:20	20分	主催者講演 2-1	主催者講演 3-1	主催者講演 4-1
13:30～13:50	20分	スポンサー講演 2-1	スポンサー講演 3-1	スポンサー講演 4-1
14:00～14:20	20分	スポンサー講演 2-2	スポンサー講演 3-2	スポンサー講演 4-2
14:30～14:50	20分	主催者講演 2-2	主催者講演 3-2	主催者講演 4-2
15:00～15:20	20分	スポンサー講演 2-3	スポンサー講演 3-3	スポンサー講演 4-3
15:30～15:50	20分	スポンサー講演 2-4	スポンサー講演 3-4	スポンサー講演 4-4
16:00～16:20	20分	主催者講演 2-3	主催者講演 3-3	主催者講演 4-3
16:30～16:50	20分	スポンサー講演 2-5	スポンサー講演 3-5	スポンサー講演 4-5
17:00～17:20	20分	スポンサー講演 2-6	スポンサー講演 3-6	スポンサー講演 4-6
17:30～17:50	20分	主催者講演 2-4	主催者講演 3-4	主催者講演 4-4

※ LIVE配信セッションについて

- スポンサー講演配信順は、お申込み順で早い時間帯から順に決定
- テーマ開催順およびスポンサー講演の配信日時は当社にて決定

※ スポンサー数に応じて、プログラムは変更の可能性あり

ご協賛メニュー

		全リストプラン	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	エグゼクティブDay特別プラン
会場参加		-	あり			なし	あり
募集予定数		社数制限なし	3社	7社	計11社		3社
エグゼクティブDay	申込者属性、人数	ユーザー企業×役職者 170名	ユーザー企業×役職者、170名			—	ユーザー企業×役職者 170名
	講演枠（15分間）	-	1枠	—	—	—	—
	ブース設置（選択式）	-	1枠	1枠	—	—	△（空き枠がある場合に限る）
	ネットワーキング ご招待	-	◎	◎	◎	—	◎
	資料配布	-	1点	1点	1点	—	—
	協賛社のご招待人数	-	3名	2名	販売終了		1名
10/29以降 LIVE配信セッション枠	講演枠（20分間）	-	最大2枠	最大2枠	1枠	1枠	—
	講演形式	-	事前収録（事務局スタジオで収録いたします）				—
納品リード		全申込者、テーマ申込者	全申込者、テーマ申込者、自社講演の視聴者		テーマ申込者 自社講演の視聴者	自社講演の視聴者	エグゼクティブDay 申込者
納品リード数（いずれも想定）		合計 1,000名 ※うちエグゼクティブDay 申込者：170名	合計 1,000名 ※うちエグゼクティブDay申込者：170名		合計 350名 ※うち自社講演視聴 者：200名 ※納品数上限：450名	合計 200名 ※納品数上限：300名	合計 170名 ※納品数上限：170名
特典		-	集客施策／レポート記事作成				—
料金（すべて税別・グロス価格）		¥3,000,000-	¥4,000,000-	¥3,500,000-	¥2,500,000-	¥1,500,000-	¥2,000,000-
お申し込みはこちらから		予約する					

エグゼクティブDay

◆講演枠（15分間）

- ダイヤモンドプランご協賛社限定
- エグゼクティブDay当日、会場内にて15分間のスポンサーセッション枠をご提供

◆ブース設置（各社1つ）

- 資料/ノベルティの配布やデモ説明などを実施できる自社ブースをご提供
- 設置有無は選択可能

◆ネットワークングご招待

- ユーザ企業×役職者が集結するネットワークングの場にご招待
 - 省庁講演の登壇者（一部）も参加予定 ※調整中のため変更になる場合がございます
 - 軽食とドリンクのご提供
 - 全2回（14:50～, 17:45～）どちらもご参加可能
- ※ご招待人数はご協賛プランによって異なります

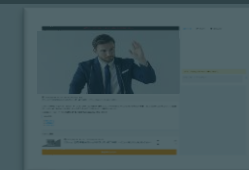
◆資料配布

- 会場での受付時に全社分まとめて配布予定
- 資料は各社1点まで（A4サイズ、20ページ未満/点）
※ノベルティ配布は各社ブースにて実施
※会場での参加者アンケート配布はございません

10/29以降 LIVE配信セッション枠

- ◆ 20分間のスポンサーセッション枠をご提供
（枠数はご協賛プランによって異なります）
- ◆ 事務局スタジオでのセッション事前収録
（収録費用はご協賛料金に含まれます）
- ◆ 貴社のセッションの時間内に、視聴画面にてアンケートの実施が可能（単一回答・複数回答・自由回答の3種類で組み合わせ自由）
※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります
- ◆ 視聴画面にて、資料の配布が可能
配布点数：ご講演資料+3点まで

スポンサーセッション画面イメージ



特典

- ◆ 集客施策
- ◆ レポート記事作成
 - ライブ配信セッションを記事化
 - JAPANSecuritySummit Updateにて後日公開
 - 掲載内容の事前確認は原則なし
 - 執筆は編集部

※画像はイメージです。



ご協賛メニュー詳細

| 納品リード

ご提供物	全申込者リスト	テーマ申込者	自社講演の視聴者 ※オンラインのみ	エグゼクティブDay申込者
	イベントの全申込者リスト	ご協賛テーマ申込者リスト	以下いずれかのアクションを取ったリード 自社セッション視聴/アンケート回答 /資料ダウンロード	エグゼクティブDay申込者
リード情報詳細	名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など	全申込者リストに テーマ申込みフラグを付与 ※申込時に該当テーマを視聴希望として チェックしている申込者	全申込者リストと同様	エグゼクティブDayの申込者リストに 会場来場のフラグを付与
納品タイミング	イベント閉幕後3営業日後（11/6（金）予定）		セッション開始後から確認可能 ※データは毎時更新	エグゼクティブDay終了後5営業日後 （予定）
全リストプラン	◎	◎	—	—
ダイヤモンドプラン	◎	◎	◎	◎
プラチナプラン	◎	◎	◎	◎
ゴールドプラン	—	◎	◎ ^{※※}	—
シルバープラン	—	—	◎ ^{※※}	—
エグゼクティブDay 特別プラン	—	—	—	◎

販売終了

※ 視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。
※※ ゴールドプランおよびシルバープランの視聴者リードに関して：視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。

貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- 事務局で収録したLIVE配信セッションの録画データ（mp4形式）を納品
- セッションありのプランにお申込みの場合に限る
- 配信時のままの状態での納品のため、編集不可

販売終了

料金 **¥50,000**

リード カスタム納品

開催5営業日前まで

- MAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせてリード納品フォーマットを加工
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品
- お申込みまでに納品条件の確定が必須

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金はリード件数によって変動

カスタムパーミッション掲載

開催5営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを告知ページに掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可
- 納品リストのカスタムは別途オプション利用が必須

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk>

料金 **¥50,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

ナーチャリング支援ツール「Pipeline Dashboard」のご紹介

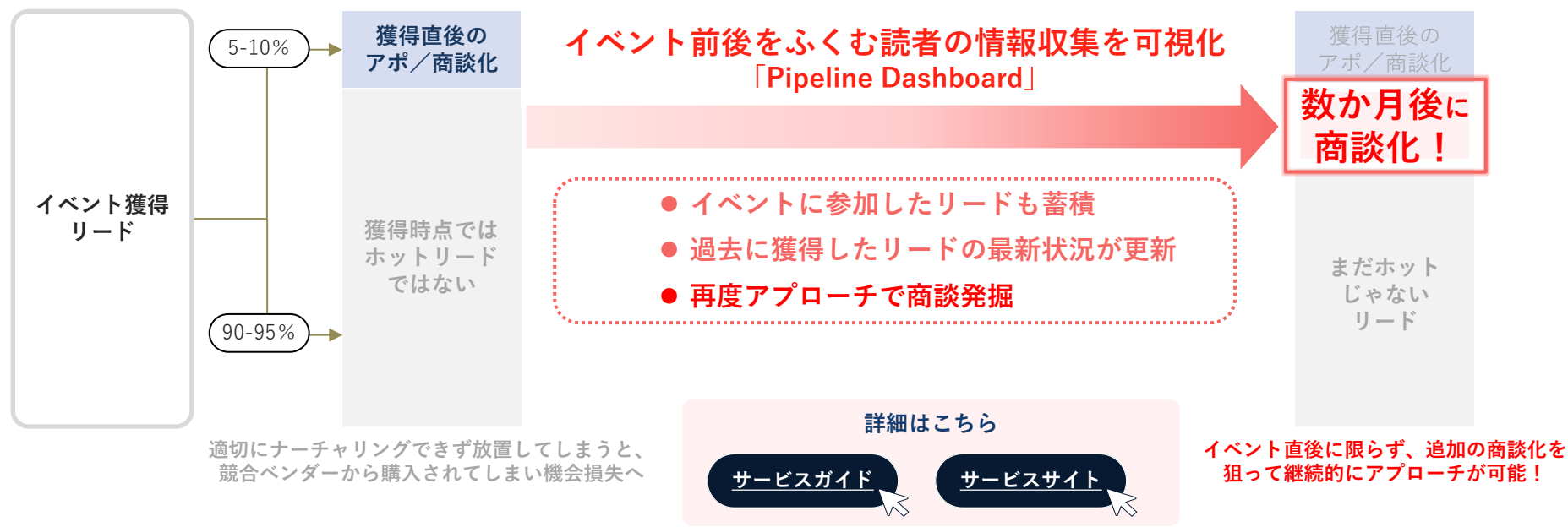
“イベント終了後に生まれる商談機会”を見逃さない

これからは、獲得してすぐにアポや商談にならなかったリードも無駄になりません。

資産として蓄積され、納品後の動きもダッシュボードに反映されます。

アイティメディアで情報収集してナーチャリングされたリードに再度アプローチをすれば、効率的な商談発掘に繋がります。

イベントにご協賛いただくと「Pipeline Dashboard」も無料で利用可能



実績

約1年前に開催したイベントのリード

1年経過した「今」の状況

情報収集を継続中
前回参加者の約48%

自社導入に
関与する

約43%

導入予定が
1年以内

約8%

※2026年6月時点

イベント協賛にまつわる課題（リードから商談に繋がらない、ナーチャリングで成果が出ない）を解決

お申し込みからの流れ

確定したスケジュールはイベント事務局よりご連絡いたします。



※予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

ご留意事項



キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル **：契約金額の50%**
開催日40日以内のキャンセル **：契約金額の100%**

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れの現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

- ・総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- ・総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

過去実績：開催概要



JAPAN SecuritySummit 2025

開催期間

2025年10月28日(火)～2025年11月24日(月)

- オープニングデイ：10月28日(火)（臨席開催@霞が関プラザホール）
- オンデマンドセミナー：10月28日(火)～11月24日(月)

主催

JAPANSecuritySummit 2025 実行委員会

共催

- ・ S/MIME推進協議会
- ・ 一般社団法人 サイバーセキュリティ連盟
- ・ 一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)
- ・ 一般社団法人 情報通信技術委員会(TTC)
- ・ 一般社団法人 セキュアIoTプラットフォーム協議会(SIOTP協議会)
- ・ 一般社団法人 ソフトウェア協会 (SAJ)
- ・ 特定非営利活動 デジタル・フォレンジック研究会(IDF)
- ・ 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス(CSAジャパン)
- ・ 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)
- ・ 一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC)
- ・ 一般社団法人 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM)
- ・ 一般社団法人 日本デジタルトランスフォーメーション推進協会(JDX)
- ・ 一般社団法人 日本テレワーク協会(JTA)
- ・ 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)
- ・ 一般社団法人 日本UAS産業振興協議会(JUIDA)
- ・ バイエルン州 駐日代表部
- ・ フィッシング対策協議会
- ・ The Linux Foundation

協賛

【プラチナスポンサー】

- 株式会社エーアイセキュリティラボ
- サイバートラスト株式会社
- デジタルアーツ株式会社

【ゴールドスポンサー】

- 株式会社SYNCHRO
- フォーティネットジャパン合同会社

【シルバースポンサー】

- NECセキュリティ株式会社
- PIPELINE株式会社
- ワンビ株式会社

詳細をみる

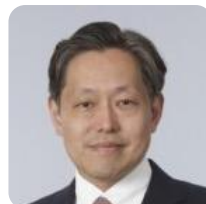


官庁講演

総務省
大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官
赤阪 晋介 氏



経済産業省
商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長
武尾 伸隆 氏



防衛省
サイバーセキュリティ 情報化審議官
中野 憲幸 氏



内閣官房
国家サイバー統括室 内閣審議官
中溝 和孝 氏



デジタル庁
CISO
坂 明 氏



基調講演

大阪大学
教授, CISO
猪俣 敦夫 氏



特別講演

前 広島県CIO / 情報戦略部長
株式会社Trive Secure Lab 執行役員副社長
日本電気株式会社 官公ソリューション事業部門
エグゼクティブストラテジスト
ワンビ株式会社 社外取締役
桑原 義幸 氏



国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティ研究所
サイバーセキュリティネクサス
CYNEX研究開発運用室 室長
安田 真悟 氏



プラチナスポンサーセッション

登壇企業・団体	講演タイトル
株式会社エーアイセキュリティラボ	DX&AI時代のセキュリティマネジメント戦略 人的リソース依存しない“CTEM”実践のカギ
株式会社エーアイセキュリティラボ	「知ること」から始めるサイバーレジリエンス 生成AIを活用して“デジタル資産”を可視化する方法とは
株式会社エーアイセキュリティラボ	【オープニングデイセッション】 社会現象としての「サイバー攻撃」と経営戦略 “あたりまえ”に攻撃される時代にもつべき目線とは
サイバートラスト株式会社	トラストサービスで守るデジタルデータのトラスト最前線 ～2025年「eシール」認定制度と“発行元の証明”という考え方～
サイバートラスト株式会社	AI×OSS時代の競争力アップ戦略 ーDevSecOpsとSBOMが切り拓く信頼と価値
サイバートラスト株式会社	【オープニングデイセッション】 サプライチェーンリスクにどう備える？組織が執るべき戦略
デジタルアーツ株式会社	2025年最新の不正アクセスインシデント事例を徹底解説！ ～最新の手口と効果的な対策をご紹介～
デジタルアーツ株式会社	IDaaSで実現するゼロトラストセキュリティの最前線！ ～StartInの導入効果と成功事例をご紹介～
デジタルアーツ株式会社	【オープニングデイセッション】 攻めのセキュリティはIDから始まる ～ゼロトラスト時代に求められるIDaaS基盤の役割と実践～

ゴールドスポンサーセッション

登壇企業・団体	講演タイトル
株式会社SYNCHRO	国産セキュリティ「KATABAMI」の医療機関向けSecure DX
フォーティネットジャパン合同会社	山口県発！サプライチェーンセキュリティ向上のためのビジネスモデル

シルバースポンサーセッション

登壇企業・団体	講演タイトル
NECセキュリティ株式会社	～ 法規制 / 制度運用が開始！対応が急務に ～ ★2025アップデート版IoT / OTデバイスベンダの責務実現に適したセキュリティ対策の最新紹介
PIPELINE株式会社	ドメインに紐づくリスクを確認しましょう ～RiskSensorのご紹介～
ワンビ株式会社	消したはずが残っている！？ 情報漏えいを防ぐ企業PCデータ消去対策

共催団体セッション

登壇企業・団体	講演タイトル
S/MIME推進協議会	NECのメールセキュリティとS/MIMEの全社導入について
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)	IoT製品のセキュリティ確保に向けて
一般社団法人 セキュアIoTプラットフォーム協議会	安心安全なIoTシステム構築に向けて ～データセキュリティ White Paper 概要～
一般社団法人 ソフトウェア協会(SAJ)	SBOMを活用した、組織的なセキュリティリスクの管理手法とは
特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会(IDF)	『信頼できるインシデント・レスポンス』のためのデジタル・フォレンジック
一般社団法人 日本クラウドセキュリティ アライアンス(CSAジャパン)	クラウド時代のAIに信頼と責任あるガバナンスを実現するための包括的フレームワーク
一般財団法人 日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)	Verifiable Credentials (VCs) を活用した事業所デジタル証明
S/MIME推進協議会	NECのメールセキュリティとS/MIMEの全社導入について
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)	IoT製品のセキュリティ確保に向けて

共催団体セッション

登壇企業・団体	講演タイトル
一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC)	セキュアAI活用推進タスクフォース－生成AI利用ルール整備について
一般社団法人 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM)	日本セキュリティ・マネジメント学会の取り組みについて
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)	サイバー攻撃を受けるとお金がかかる～インシデント損害額調査レポートから考える被害額のハナシ～
一般社団法人 日本UAS産業振興協議会(JUIDA)	ドローンのセキュリティ最新事情
フィッシング対策協議会	今こそ対応と見直しが必要なメールの送信ドメイン認証とは
Linux Foundation	事業基盤としてオープンソースソフトウェアを見る
一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC)	セキュアAI活用推進タスクフォース－生成AI利用ルール整備について
一般社団法人 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM)	日本セキュリティ・マネジメント学会の取り組みについて
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)	サイバー攻撃を受けるとお金がかかる～インシデント損害額調査レポートから考える被害額のハナシ～

総登録者数



872名

前年比：100.3%
(2024年：867名)

オープニングデイ
登録者数



665名

前年比：130.0%
(2024年：513名)

- 会場参加：98名
- オンライン参加：149名

オンデマンドセミナー
平均登録数



414名

前年比：133.0%
(2024年：312名)

オンデマンドセミナー
平均視聴率(数)



107名
(26.0%)

前年比：-14ポイント
(2024年：40.0%)

オンデマンドセミナー
平均アンケート回答率(数)

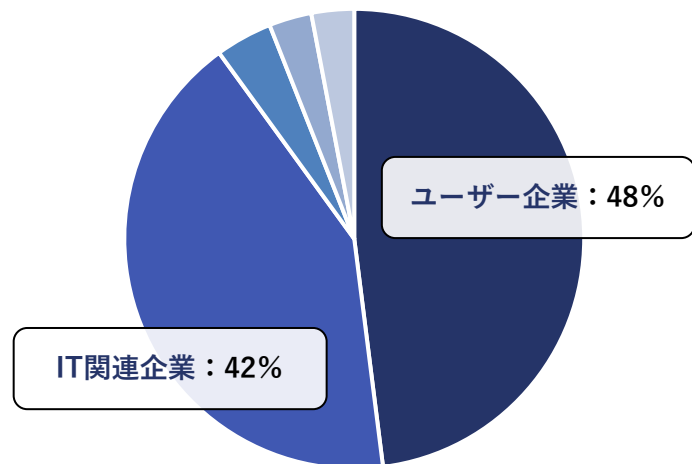


29件
(27.0%)

前年比：+1ポイント
(2024年：26.0%)

過去実績：登録者属性

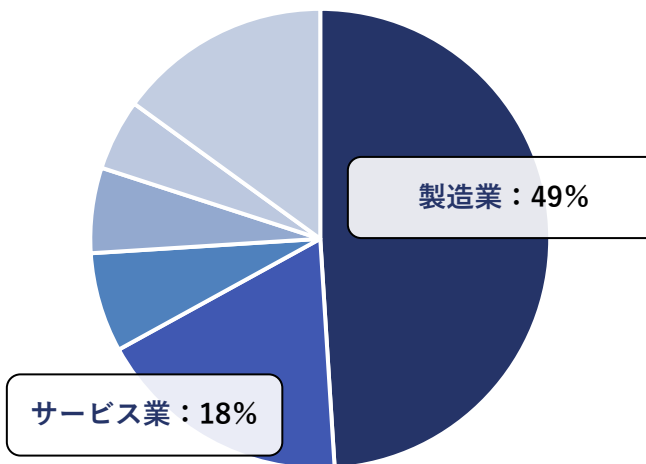
全体



N = 872 名

ユーザー企業	422 名	48 %
IT関連企業	368 名	42 %
官公庁・各種団体	34 名	4 %
大学・研究機関	23 名	3 %
学生・個人	25 名	3 %

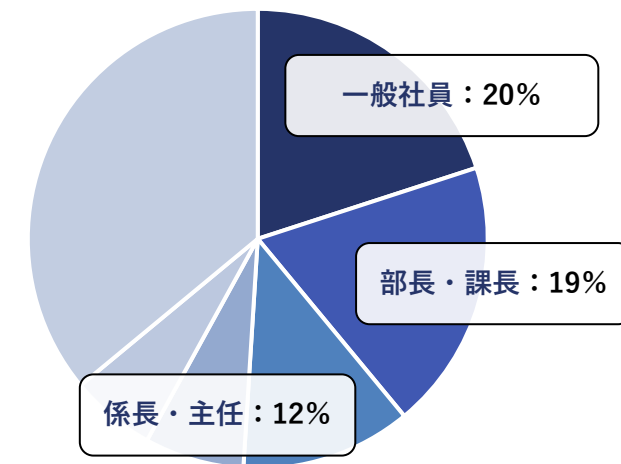
業種別



N = 422 名

製造業	207 名	49 %
サービス業	74 名	18 %
コンサルティング	30 名	7 %
金融・保険	24 名	6 %
商社・卸	21 名	5 %
その他	86 名	19 %

役職別



N = 422 名

一般社員	86 名	20 %
部長・課長	80 名	19 %
係長・主任	50 名	12 %
専門職・特別職など	28 名	7 %
経営者・役員	26 名	6 %
その他	132 名	38 %



お問い合わせ

JAPANSecuritySummit 2026 事務局

〒107-6031
東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル31階
(一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会内)
info@japansecuritysummit.org

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル (受付: 13F)
<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)